

ひろしま木育アカデミー2023 第7回 開催報告

ひろしま木育アカデミー2023 第7回林業編を11月19日(日)に県立もみのき森林公園にて開催しました。

はじめに、「広島県の林業」について広島県林業課県産材利用促進グループの武田剛様にお話しいただきました。広島県の林業従事者や生産量と需要などの現状、それらに対する県の取り組みとして、主伐・再生林の推進などについてご紹介いただきました。

次に、「木の成長と利用」について木村よりお話ししました。30年生程度のスギ丸太輪切りの年輪を数え、その丸太から家の材料(105mm角の柱)を切り出すことができるか確認しました。

午前中の最後に「林業と木育」として、林業の仕事(人工林の木を植える・育てる・伐採する・また植えるのサイクル)、林業の現状(課題と解決)、林業から見た木育の意義と可能性について細田林業株式会社の細田宗嗣様よりお話しいただきました。持続可能な社会や脱炭素社会の実現のために二酸化炭素の排出量を削減するという世界的な流れの中で、広島県の民有林の再生林率(皆伐後に植林した面積の割合)が15%と低い理由について、経済・ビジネスの視点から今後の展望も含めて解説いただきました。「1人1人が自然との共生を考えていくためには知ることが必要、木育は知り、考えるきっかけになるのでは」という最後のお話がとても印象に残りました。



午後は、はじめに「人工林の手入れを体験しよう」として、細田林業様が管理されている人工林まで歩き、植林と枝打ちの体験を行いました。植林は今年皆伐を行った山の一部で行いました。私自身、植林を行うのは昨年度のアカデミーに続き2回目で、穴を掘ってコンテナ苗を植える、これを全て人の手で行うと考えると改めて大変な作業であると実感しました。植林と枝打ちの体験に加え、今回はチェーンソーで丸太を切るところを見せていただきました。

最後の「今日の内容を振り返ろう」では、今日行ったこと、今日の活動を通して分かったこと、次にやってみたいことを挙げ、グループ内で共有しました。



7回目の林業編は、木材を生み出す林業の大変さと大切さを様々な体験を通して考えるきっかけとなることを目指しました。川上を知り、木育を考える場になったのではと考えています。

(文責：木育普及委員会 副代表 木村 彰孝)